

## 基本目標4 子と親の健康づくりの推進

### 1 総括

区分	事業数 (実数)	取 組 状 況				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
新規	5	3	3	4	4	5
継続	52	52	52	52	52	52
計	57	55	55	56	56	57

### 2 新規事業の実施状況

No.	事業名	実施予定年度	実施 着手	前期計画における実施状況
187	産婦人科救急事業の検討 【地域医療課】	平成17年度～	○	休日等(年末年始及びゴールデンウィークを除く)午前9時から午後5時において、初期救急を相模原南メディカルセンターで、二次救急を市内の協力病院で平成21年4月から実施した。
222	保育所における 食育の推進・食のあり方の検討 【保育課】	平成17年度	○	平成19年度保育園部会にて食育推進に向け食育実践ガイド集の作成を行った。
223	食育推進連絡会の設置 【地域保健課】	平成17年度	○	平成20年度に食育に関する関係団体による食育推進計画策定委員会を設置し、食育推進計画を策定した。平成21年度は食育推進委員会を設置し、食育推進計画の進行管理及び関連機関のネットワークづくりを進めた。
224	食育講座の開催 【地域保健課】	平成17年度	○	平成17年度より保健所や公民館等で親子を中心とした食育講座を実施するほか、イベント等においても知識の普及・啓発を行った。
228	食生活改善推進員の育成 【地域保健課・各保健センター】	平成17年度	○	月1回中央・南・津久井の3会場において定例会を実施、また、現任研修会等を行い、会員の資質の向上を図っている。

### 3 継続事業の実施状況

No.	事業名	主管課	前期計画における実施状況
188	助産施設入所の実施	こども青少年課	保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由で、入院助産を受けることができない妊産婦を助産施設に入所させ、その経費を支弁した。
189	母子健康手帳・ほほえみ (相模原市母子保健情報冊子)の交付	健康企画課	母子健康手帳を妊娠届出時に交付した。平成21年度より母子手帳交付時にマタニティキーホルダーも同時配布している。
190	母性健康管理指導事項連絡カードの 普及・啓発	健康企画課	母性健康管理指導事項連絡カードについてのチラシを保健センターに配布し周知を行った。
191	妊婦健康診査事業の実施	健康企画課	平成21年度より、妊婦健康診査の公費負担を5回から14回に増やした。また、市内助産所においても補助券が使用できるようにした。あわせて、定期的な妊婦健康診査を奨励した。
192	特定不妊治療費助成事業の推進	健康企画課	平成21年度から制度の拡充を行い、治療1回につき10万円を限度から15万円に引き上げ、年度内2回まで助成した。
193	妊産婦訪問指導事業の実施	各保健センター	平成21年4月から生後4か月迄の乳児のいる家庭に全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を実施。母子訪問相談員(保健師・助産師等)により発育、栄養、育児、生活環境の相談や支援を行っている。
194	ハローマザークラス (母親・父親教室)の開催	各保健センター	初妊婦、父親及びその家族を対象に市内6会場で実施。
195	新生児訪問指導事業の実施	各保健センター	・本事業は廃止。平成21年4月から生後4か月迄の乳児のいる家庭に全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を実施。母子訪問相談員(保健師・助産師等)により発育、栄養、育児、生活環境の相談や支援を行っている。

### 3 継続事業の実施状況

No.	事業名	主管課	前期計画における実施状況
196	未熟児訪問指導事業の実施	各保健センター	出生連絡票や医療機関からの連絡等により把握した未熟児に対し、発育、発達、子育てについての相談や支援を継続実施。
197	母子訪問指導事業の実施	各保健センター	継続実施
198	慢性疾患児等訪問指導事業の実施	各保健センター	長期に療養を必要とする慢性疾患児の日常生活の相談や支援を継続実施。
199	ひばり教室(1歳6か月児健康診査の事後指導教室)の開催	各保健センター	1歳6か月児健診等で把握した発達等に心配のある幼児とその保護者に対して、小集団による継続的な育児支援を実施。
200	つばさクラブ(3歳6か月児健康診査の事後指導教室)の開催	各保健センター	3歳6か月児健診等で把握した発達等に心配のある幼児とその保護者に対して、小集団による継続的な育児支援を実施。
201	乳幼児健康診査未受診児対策の実施	各保健センター	乳幼児健診(4か月児、8か月児、1歳6か月児健診)のそれぞれの未受診者に「質問紙」を送付し、発育や育児状況についての把握に努めるとともに、保健師の訪問等により保健指導を継続実施。
202	乳幼児健康診査における心理相談の充実(再掲)	各保健センター	電話、来所による育児相談を継続実施。
203	おやこひだまり相談室(専門心理相談)の充実(再掲)	各保健センター	心理相談員、保育士、保健師のスタッフによる相談を市内7会場で実施。
204	育児相談事業の充実(電話、来所)	各保健センター	電話、来所による育児相談を継続実施。
205	ふれあい親子サロンの開催(再掲)	こども青少年課	平成21年度はこどもセンター等27か所で月1回(8月は除く)297回行った。年間参加者数 大人14,742人 子ども15,944人 合計30,686人
206	ほっぷ・すてっぷの会(未熟児教室)の開催(再掲)	各保健センター	継続実施
207	ビーンズクラブ(多胎児教室)の開催(再掲)	各保健センター	多胎児をもつ保護者同士が交流し、情報交換をする場として市内3会場で開催。
208	慢性疾患児保健指導事業の実施	各保健センター	平成18年度は、講演会開催回数を年4回から6回に増加。平成19年度からは、講演会開催回数を年8回実施し、個性の高い質問に対応するため、質疑応答の時間を拡大した。平成21年度も同様に実施した。
209	育児支援教室(AQUA)の開催(再掲)	健康企画課	平成21年より、「ママの休み時間」と名称を変更し、月1回実施している。
210	乳幼児健康診査事業の実施	健康企画課	各種健康診査(4か月児、8か月児、1歳児、1歳6か月児、2歳6か月児、3歳6か月児、乳幼児経過健診)を集団又は個別で実施し、必要に応じて保健指導を行った。
211	産後うつ・育児支援の充実(再掲)	各保健センター	ハローマザークラスや、4か月児健診等で、育児不安のある母親を把握し早期育児支援を継続して行っている。
212	乳幼児精密健康診査事業の実施	健康企画課	乳幼児健診の結果、疾病や障害の疑いのある乳幼児に対して、精密健康診査受診票を発行し、専門医療機関で早期発見・早期治療を行った。
213	就学時健診の実施(再掲)	学校保健課	市内小学校・及び公共施設で実施。6088名受診。受診率97.7%。
214	児童生徒の健康診断の実施(再掲)	学校保健課	市立小中学校にて、各種健康診断を実施済み。
215	栄養相談事業の推進	各保健センター	乳幼児をもつ保護者とその家族を対象に、食生活に対する不安や悩みが軽減、解消できるよう栄養相談を継続実施。
216	赤ちゃんセミナー(離乳食講習会)の開催	各保健センター	生後6か月の初めての乳児をもつ保護者とその家族を対象に、市内6会場で実施。
217	元気Kidsの食育セミナー(こどもの生活習慣病予防教室)の開催	各保健センター	1歳6か月から3歳までの幼児をもつ保護者を対象に、市内6会場で実施。
218	親子で歯っぴいちゃれんじ大作戦(むし歯予防教室)の開催	健康企画課	平成20年度に、南地域開催回数の拡充及び津久井地域の実施内容の見直しを行い、21年度も引き続き同様の内容で実施した。
219	重度う蝕ハイリスク幼児歯科健診(継続歯科健康診査)の実施	健康企画課	重度う蝕につながるリスク要因を保有している乳幼児に対して、継続的に歯科保健指導を実施し、必要に応じ予防のための薬物塗布を行った。

### 3 継続事業の実施状況

No.	事業名	主管課	前期計画における実施状況
220	特別歯科相談の実施	健康企画課	心身に障害があり通常の健診や相談を受けることができない者を対象に、歯科疾患の予防、早期発見、治療や継続的で適切な口腔管理・指導を行った。
221	学校歯科巡回指導の実施	健康企画課	市内小学校の2、5年生を対象に、歯科衛生士が学校を巡回し歯科保健指導を行った。
230	小児医療費助成事業の充実	地域医療課	平成20年4月から、乳児・幼児等医療費助成(通院)の対象年齢の上限を義務教育就学前までから小学校3年生までに拡大した。
231	小児急病診療事業の実施	地域医療課	休日及び夜間における小児救急患者に対する医療の充実を図るため、小児科医を配置した初期救急医療機関及び二次救急医療機関を確保した。
232	小児医療費援護事業(養育医療、育成医療、小児慢性特定疾患)の実施	健康企画課	入院することが必要な未熟児、障害のある子ども及び特定の疾患に罹患している子どもに、必要な医療を給付している。
233	かかりつけ医の普及	健康企画課	平成21年度から、こんにちは赤ちゃん事業の全戸訪問の際、かかりつけ医を持つよう普及啓発した。
234	子どもの事故予防対策の実施	各保健センター	平成17年度事故予防方法啓発のパネルや物品をウエルネスさがみはらに設置。19年度には津久井保健センターに設置。南保健センターでは4か月健康診査時に掲示している。平成18年度からは、健康フェスティバルや講演会等でポスター掲示、事故防止チェックリスト、幼児の視野体験グッズの作成等で地域の普及啓発を図っている。
235	予防接種の実施	保健予防課	ポリオ、三種混合、二種混合、麻しん、風しん、及びBCGについては、標準的な接種年齢に到達した児童の保護者に対して接種勧奨通知を送付している。特に麻しん、風しんについては、早期に接種するよう通知に説明を記載しているほか、勧奨通知を年度内に2度送付し、制度の周知に努めている。
236	思春期相談の実施	各保健センター	継続実施
237	赤ちゃんふれあい体験教室の開催(再掲)	各保健センター	継続実施
238	高校生のためのピア・カウンセリング講座の充実(再掲)	健康企画課	高校と連携を図りながら実施。ピア・カウンセラーが高校に出向き、講座を開催した。
239	思春期保健セミナーの開催(再掲)	健康企画課	思春期の子どもとその保護者、思春期の子どもたちに関わる関係者を対象に、セミナーを実施した。
240	エイズ等の検査・相談の実施	保健予防課	平成17年度から、検査をこれまでの火曜日に加え隔週土曜日にも実施している。平成21年度は、検査当日に結果が判明する即日検査を4回実施した。H21年度受検者数:538人
241	エイズ予防対策の実施	保健予防課	街頭キャンペーンの実施や中・高校生を対象に出前講座の実施(H21年度実施校数:18校)
242	ひきこもり相談支援事業の推進	保健予防課	平成18年度から、月1回、家族対象の自助グループを開催した。
243	薬物乱用防止対策事業の推進(再掲)	医事薬事課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原市薬物乱用防止連絡会</li> <li>・薬物乱用防止啓発活動(啓発グッズ、リーフレットの配布、薬物見本展示等)</li> <li>  { 市民桜まつり、津久井やまびこ祭りにおける啓発「ダメ。ゼッタイ。」普及運動</li> <li>  麻薬・覚せい剤乱用防止運動</li> <li>  活動実施期間の懸垂幕掲揚・ポスター掲示、</li> <li>  広報さがみはら掲載</li> <li>・薬物乱用防止講習会</li> </ul>
244	健康な生活に関する指導の充実(再掲)	学校教育課	平成21年4月の「学校保健法」の改正で「学校保健計画」を各々作成することが義務付けられたことに伴い、本年度、作成および提出を義務づけ、指導の充実を図った。
245	「性教育の手引」の活用と性教育の推進(再掲)	学校教育課	小・中学校各校において、学級活動などの授業のなかで「性教育の手引き書」を活用し、性についての教育・啓発を進めている。
246	喫煙・飲酒及び薬物乱用防止教育の推進(再掲)	学校教育課	平成21年度は、小学校72校中26校、中学校37校中28校が、薬物乱用防止教室を開催した。その多くは、警察官のOBや薬剤師等を招き、健康教育の推進をはかった。
247	社会環境健全化啓発ポスターの配布	こども青少年課	子どもたちの夏休み、春休み前の時期を捉え、「青少年の深夜外出の制限」(夏休み前)、「青少年の喫煙・飲酒防止」(春休み前)ポスターを作成・配布した。